

## 教育長定例記者会見 会見録

日時:平成30年6月25日 16時15分～

場所:教育委員室

### 発表項目

- ・ 県立学校のブロック塀等の安全点検に係る調査結果
- ・ ものづくり創造専攻科生徒を対象にしたDMG森精機(株)企業研修

### 質疑事項

- ・ 発表項目について

### 発表項目

(教育長) 私の方から2点発表させていただきます。まず、県立学校のブロック塀等の安全点検に係る調査結果についてです。大阪府北部を震源とする地震発生によって、ブロック塀の倒壊でお亡くなりになりました小学生をはじめ、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りしたいと思います。それから、今回の調査結果を受けてですが、生徒の安全が第一でありますので、安全が確認できないブロック塀については、児童生徒が近づかないようにということで、各県立学校の校長に指示を出しているところです。それでは調査結果に入ります。詳細は別紙1のとおり、学校別の表もつけさせていただいております。まず、ブロック塀等の有無です。県立学校70校中33校67箇所ブロック塀がありました。調査でございますけども、県立学校において、建築基準法施行令のブロック塀等の構造基準を充たしているかについて、高さ等による点検を行いました。その中には、高さの測定方法などが不明確なブロック塀等もありまして、たとえば、坂道に設置されているとか、基礎がコンクリートなどで高められているというようなものもございました。今回の調査結果に含めているものの中には、モルタル吹付の壁とか体育館の出入り口の階段の手すりを施した壁のように、ブロック塀として扱うべきかどうかなどというような事例も中には入っています。これらも含め、今後、有資格者による詳細調査が必要なものもあると考えています。基礎、鉄筋につきましては、設計図書がない場合には、直接、その一部を壊したりして、確認する必要があります。以下は、今回の学校での調査結果をとりまとめたものでありますが、今後の詳細調査で件数が増える可能性があります。調査結果、まず、高さ、壁の厚さ、控壁でございます。各学校で測定し、現時点で構造基準を充たしていないと分類したブロック塀等は、31校57箇所でした。基礎、鉄筋でございます。基礎については、基準を充たしていることが図面で確認できたものが2校2箇所。設計図書がないため、基準を充たすかどうか確認できないものが33校65箇所ございました。鉄筋についても、同様のことでございまして、基準を充たしていることが図面で確認できたものが2校2箇所、設計図書がないため、基準を充たすかどうか確認できないものが、31校56箇所ございました。高さ、壁の厚さ、控壁、基礎、鉄筋のすべての基準を充たしていると区分できるものは、1校1箇所でございます。その他、劣化・損傷の状況でございます。ひび割れとか破損等が確認されたブロック塀等は16校28箇所ございました。

が、全ての箇所が上記の(2)の②のアの基準を充たさない、要するに高さ、壁の厚さ、控壁がございますが、これを充たさないブロック塀等に含まれてございます。今後の対応でございます。まず、基準を充たしていないブロック塀と、詳細調査を要するブロック塀等については、注意表示とか、ロープ、コーン、バリケードなどによって、児童生徒が近づかないように、各学校において注意喚起を行います。それから、詳細調査の実施でございます。先ほども言いましたが、3点ございまして、まず、高さ等の確認です。高さの測定方法には、不明確なブロック塀、左右で地盤の高さが異なるとか、坂道に設置されているとか、控壁の形状の確認が必要なものについては、現地で有資格者による調査を行います。それから、劣化・損傷等についても専門家の視点で確認を行います。ブロック塀に該当するか否かの確認です。先ほども申し上げましたが、モルタル吹付の壁とか体育館の出入り口の階段については、その構造がブロック塀に該当するか否かについて、業者への委託とかその他の確認方法について検討したいと考えています。基礎と鉄筋です。設計図書のないブロック塀等については、掘削とか塀の一部を壊しての確認が必要になりますけれども、こういった①とか②の結果を踏まえて、業者委託の必要性について検討したいと考えています。それから、基準を充たさないブロック塀等の対応についてでございますが、今回の調査で高さの基準を充たさない、要するに2.2mでございますけど、そういう基準を充たさないなどが明らかになったブロック塀等については、詳細調査で基準を充たさないことが明らかになったブロック塀とともに、撤去とフェンスの設置など必要な代替措置を検討して対応を行うこととしたいというふうに考えています。調査結果については、以上でございます。

2点目です。四日市工業高校ものづくり創造専攻科の生徒を対象にしたDMG森精機株式会社伊賀事業所における企業研修の実施でございます。今年4月に締結した三重県とDMG森精機株式会社との「産業振興等に関する包括的連携協定」の主な取組として、県立四日市工業高等学校ものづくり創造専攻科の生徒を対象にしたインターンシップ等の受入れがあることから、今回企業研修を行うことになりました。工作機械製造で世界トップを走るDMG森精機株式会社にご協力いただき、専攻科の生徒11名が、航空機産業や自動制御等の先端分野につながる高度な精密加工や制御技術などの体験や見学を行います。通常は、会社の概要説明を受け、組み立て工場とショールームの見学をする半日コースになりますが、今回専攻科生が受ける研修の内容は、通常のコースに加え、特別に最新工作機械の操作体験ができたり、新入社員等が工作機械の加工技術を身につけるための施設である技術道場を見学できたりすることが特徴です。また、今後も専攻科に同時5軸加工機を無償貸与していただくことになっているほか、10月から始まる後期の授業では、技術者を派遣していただき、「プログラミング演習」や「実習」「制御工学」の科目で高度な技術指導を受けることになっています。専攻科の生徒にとっては自分たちが目指す最先端のものづくりの現場を肌で感じられる貴重な機会になりますので、多くのことを学び今後の技術習得や学習に生かしてほしいと考えています。取材につきましては、午前中のみ可能です。事前のお申し込みが必要となりますので、取材の際は、7月10日までに高校教育課までご連絡いただきますようお願いいたします。ものづくり創造専攻科では、参考資料にあるとおり、県内地域の企業と連携した人材育成に取り組んでいきたいと考えています。

## 発表項目に関する質疑

(質) ブロック塀の安全点検に係る調査についてなんですけれども、まず調査結果で、3校中3校で基準を満たしていないというのはかなり多い数字なのかなと思うんですけども、率直に教育長としての受け止めに教えて下さい。

(答) 調査結果を受けて、報道で他県の岐阜とか埼玉の数字を見て比べるというのもおかしいんですけど、多いなと感じました。それについては、先ほども言いましたがモルタル吹きつけの、校門の横にある壁とか、そういうのも非常に丁寧に調べましたし、本当に一番高いところを測るよというので指示しましたので、それを全部ひっくるめたら、やっぱりちょっと多いな、という感じがしました。

(質) 現状として、全てのブロック塀の近くには何か安全対策をとられている状態なんですか。

(答) 調査結果を受けて、子ども、地域の状況、隣が通学路であるとか、色々状況が違うかと思うんですけど、とにかく地震がきたら壁に近づかないように、と各学校現場によって表現は違うと思いますけど、そういうような注意喚起の表示をするよというように指示しておりますし、実際に子どもたちが授業や部活について口頭でどのように注意するか、指示を出しております。

(質) ブロック塀なんですけど、阪神淡路大震災よりも後に建設したものも多いのか。

(答) 平成7年。別紙1の表に書いてありますが、不明というものが多いので。

(答 学校経理・施設課) 不明なものは、校舎を建てた時にあわせてというものが多いので、かなり古いものだと推測されます。

(答) 平成7年以降に学校を建てというのは。

(答 学校経理・施設課) それは確認していない。

(答) 学校を建てた時に、そのままブロック塀とおぼしきものが作られているので、平成7年以降に学校建設したのかは確認できるか。

(答 学校経理・施設課) ブロック塀の設置年度については、この表にすべて記載していますので。

(質) 平成7年以降に設置されているブロック塀が、仕様書にそぐわずに建てられたのか、仕様書にそういった基準を充たすような形で書いていなかったのか。今のところ判明しているのか。

(答) 基準の設計書というのがないんですよ。

(答 学校経理・施設課) 基礎とか鉄筋について設計書がないか調べてさせていただいたが、設計書がなくて確認ができなかった。

(質) 傷や破損などが確認できたのは、16校中28箇所で、大きいものでどれぐらいの破損やひび割れがあったのでしょうか。

(答) 写真でしか見れないけれど。

(答 学校経理・施設課) 具体的には、大きなものというのはなかなか申し上げにくいのですが、著しいという程度のもはないかと思います。

(答) 大きさは、写真とかでは分からないのか。

(質) 例えば、数十センチぐらいのひび割れがあるのかとか、直径何センチぐらいの穴ぼこがあるのかとか、こういった状態のものが見つかるのか。

(答 学校経理・施設課) ここで今、お答えするのは難しいです。

(答) それは教育委員会事務局なので分からないということか。

(答 学校経理・施設課) 報告としては、ここで書いていただいている部分で、補足的に調査をやりたいと思っているのですが。

(答) 分かりました。ここに、劣化の状況をひび割れとか、調査表をお見せしていると思うのですが、調査によって、表のなかに入れて回答してきているだけですので、その大きさというのは事務局の中では、きっちり把握できていないというのが状況です。そういう意味合いで詳細調査、実際現地に行ってみるといのが必要だと考えています。

(質) 調査結果について、②調査結果のアのところ、現時点で構造基準を充たしていないとあるのですが、これは建築基準法施行令に違反している、それとも違反の疑いがある、どう解釈したらよいか。

(答) 別紙2のところに建築基準法施行令におけるブロック塀等の構造基準がありますけれど、ここに高さは2.2m以下とする、壁の厚さは15cm以上、2m以下の塀は10cm以上、控壁についてはこしていなければいけない。この条件を充たしているのが○で、充たしていないのが×です。

(質) 疑いではなくて、違反している。

(答 学校経理・施設課) 高さの計測の仕方で、例えば溝の横にブロック塀があって、その高さの計測の仕方が、ブロック塀のどこから測るのかによって高さが変わってきます。高さの起点をどうするかは、今回調査では安全をみて、一番下から高さが一番できるように測っていて、それが実際の建築基準法施行令で、どの地点で測るのが正しいかというのは明らかになっていないので、この調査イコール建築基準法違反とは考えておりません。

(答) 違反か疑いがあるかというご質問ですよ。疑いがあるということで。高さが、2.2mと申し上げたが、2.2を測るためにも、高まったところから測ればいいのか、下の方から測って2.2mを超えるものなのか、測り方が明確に決められているわけではないので、そういう意味合いにおいては、ここに一番高いところで測れと指示が書いてありますが、本当に×かどうかということはあるので、疑いがあるということでいいですね。

(答 学校経理・施設課) その辺は、有資格者にきちんと見極めてもらわないと分からない。

(答) 詳細調査で、有資格者に見てもらってから判断するという案件もこの中に含まれているというふうにご理解いただきたい。

(質) 明らかに違反していると分かっているのはあるのか。

(答 学校経理・施設課) そういったものではなくて、平らなところに建っているのは測っても高さに違いはでないもので、それは明らかということになると思います。

(質) それはどれぐらいあるのか。高さだけではなくて。

(答) 待ってもらって、数字がでるものなのか。一個一個本当に形状が違うので、もしその数字を弾くとすると、写真だけでは分からないし、現地を見て、事務の私たちでも行って、きちっとする必要があるということでもいいですかね。明らかと言われてしまうと、歯切れが悪くて申し訳ないが。

(質) 明らかなのは現時点ではないということか。

(答 学校経理・施設課) 後で、確認させていただきます。

(答) 後で、平らなところで2. 2 mを超えてというのが、明らかにというのが、幾つあるというのが後で数字ということでもいいですか。

(答 学校経理・施設課) はい。

(答) 後で、幹事社に報告させていただきます。大変失礼いたしました。

(質) 知事会見でも出たんですけど、3年に1回業者が点検していて、その時は異常なしということで特段の対策をこれまでしてこなかったけども、急きょ今回やると、これだけ見つかったという、じゃあ何のために3年に1度調査していたのかと思うんですけど、そこはどうですか。

(答) 27年から3年に1回ということで、たぶん知事もそのように言われたかと思うんですけど、たしかに法定点検で業務委託の中でしてもらっているつもりだったかもわかりませんが、そこをほんとにきちんと、大変たくさんある項目の中で、ブロック塀について細かい指示というのは出していなかったと思っています。なので、そこまで確認できなかったのかなと思っています。

(質) 高さとか厚さだったらそんなに細かい指示がなくても、すぐできるものだと思いますけど、それも見逃してきたということですか。

(答) そうですね、結果的には違反という状況であるという報告は受けていなかったの、認識が甘かったのではと。こちら側の。高さがこれだけ、厚さがこれだけっていうのをひとつひとつきちんと委託の業者に、ちゃんと仕様には書いてあるんですけど、それをひとつひとつ丁寧に説明することについては、していなかったから結果がこうなったのかなと思います。なぜそうなってしまったのかというのはちょっと検証する時間も欲しいと思いますので、たぶんそこだと思うんですけど、もう少し検証する時間は欲しいなというふうに思います。

(質) 知事が法定点検って言ってましたけど、これは何に基づく法定点検ですか。

(答 学校経理・施設課) 建築基準法です。

(質) 高いものもどこから測るかということがあるみたいですけど、見る限り一番高いのはどのくらいあるんですかね。何メートルとか。

(答 学校経理・施設課) 3メートルです。

(質) それはどこですか。

(質) さっき職員に聞いたら、教育委員会の、桑名高校で3. 9メートルというのが一番高いとおっしゃってたんですが、数字で大切なものなのであんまりあやふやなものは。

(質) 桑名のプール西側が3. 9メートル。

(答 学校経理・施設課) すみません。桑名が3. 92です。

(質) 間違いないですか。

(答 学校経理・施設課) はい。

(質) これが1番高いということですね。

(質) これも要は下に基礎みたいながあるので、わからないということなんですか。

(答 学校経理・施設課) 地面の高さが1番底から測っていますので、ここは段になっているような形状の土地で、段になっていて、高い方にブロック塀が建っていて、1番底から測っていますので3. 92という数字になっています。

(質) 2番目はどうですか。

(答 学校経理・施設課) 2. 97です。

(質) どこになりますか。

(答 学校経理・施設課) 志摩高校です。

(質) これは地面からですか。

(答 学校経理・施設課) こちらの方はほぼ地面からです。

(質) 確認ですけど、疑われるものが31校57箇所であって、明日から詳細調査をして、それが来週半ばぐらいまで。

(答) そうですね。知事がたぶんそういうふうにお答えしたと思いますけど、そうですね。

(質) で、わかればいつごろから撤去でしたっけ。

(答) 撤去については知事も来週ぐらいからと申し上げたというふうに思いますが。

(質) 詳細調査終わり次第みたいな形。

(答 学校経理・施設課) 来週中ですね。

(質) それって詳細調査終わるころですよ。終わって違反が確認されれば、もう、すぐということですね。

(答) そうですね。そういう段取りになっていくと思いますね。ただ、その詳細調査によって、物が本当にたくさんありますので、緊急なものからっていうので、さっき言ったように、明らかな平場のっていうのがあれば撤去からかかるかもわからないし、ということになると思いますね。

(質) 資料の見方がわからないんですけど、すべて充たしているというのが1校1箇所だけですよ。疑われるものが31校57箇所というのは、その間の分っていうのは何ですか。33校67箇所に塀があって、疑われるのが31校57箇所ですよ。ここに基準をすべて充たしているものは1校1箇所となっていて、10箇所ぐらい差があるんですけど、これは何ですか。

(答 学校経理・施設課) わかりにくくて申し訳ありません。調査結果のA)の部分は高さ、壁の厚さ、控え壁、これのいずれかに当てはまるものが31校57箇所でございます。基礎、鉄筋の部分が、図面がなくてわからないという部分がありまして、それを除きますと、1校1箇所のみ明らかに、ということになります。

(質) 高さとかはOKだけでも、基礎とか鉄筋の部分で要点検なので1校1箇所に入らなかったのは、何校何箇所あるとさえいっていいのでしょうか。

(答) だめだったというか、確認できなかった。

(答 学校経理・施設課) この表で言うと9箇所になります。(1)(2)(3)が○になっていて、(4)(5)が※印になっているものを数えると9箇所になるかと思えます。

(質) 学校数はすぐにわかりますか。

(答 学校経理・施設課) 8校です。稲葉特別支援学校に2箇所ございますので。

(質) また、数値の細かい部分になって申し訳ないんですが、学校単位で確認した場合は、1校1箇所というのは、伊賀白鳳ということで。

(答) そうです。

(質) ということは、伊賀白鳳は他の部分で点検が必要な部分があると思うんで、結局この33校全部、何かしら点検はしなくてはいけないという状態ということではないんですか。

(答) そうです。

(質) 今回、地震後にですね、法の違法性を問わずに、危険性があるなどの理由で、すでに撤去・解体・改修したブロック塀はありますか。

(答) 県立学校において。

(質) はい。

(答) それはありません。

(質) 市町の点検結果はいつまででしたっけ。

(答) 29日の金曜日までに報告してくださいというふうに依頼をしています。

(質) もう、何か明らかになっていて、もう撤去するとかそういう情報は入ってないですか。

(答 学校防災推進監) 報告していただいた中には、7月20日までに撤去しますというふうな報告をしていただいているところもあります。

(質) どこですか。

(答 学校防災推進監) 大台町です。

(質) 大台町の、何小学校とか中学校とか。

(答 学校防災推進監) 今、すいません、手持ちで持ってないですが、3つの学校です。

(質) 小中もわからない。

(答 学校防災推進監) 後でお伝えします。

(質) 大台町の3つの学校ですか。

(答 学校防災推進監) はい。

(質) 撤去が今後行われるということですよ、7月20日までに。

(答) もう行われたかどうかは、まだわからないよね。

(答 学校防災推進監) まだ、わからないです。7月20日までに撤去するというふうに。

(質) もういろいろ尾鷲とかいなべとか報道で出ているんですけど、そういうのはまだ報告来ていないということですね。

(答 学校防災推進監) はい。

(質) 県立学校の内訳ってわかりますか。70校中、県立高校が何校で、特別支援学校が何校。

(答) 数字のことなので、後で報告をさせていただきます。70校の内訳をきちっとここでも答えられるように。

(質) 繰り返しになったら申し訳ないんですけど、ブロック塀等があった学校で、すべて基準を満たしていると判別できたものは、要は1校もないってことですよ。

(答) 学校数としては。

(質) どう思われました、その結果。

(答) 一番最初にあったように、やはり数が非常に多かったなっていうふうに、まず自分の中では、受け止めました。それで、繰り返しになりますが、調査の仕方によって、本場にどこから測るとか、モルタルの吹き付けの、その門の横のそれとか、いろんな数が、本当にマックスみたいな数字で来ているので、本当にそれがブロック塀かどうかとか、中をちょっと確認したりとかいうのがありますので、そういう調査を経たら数はちょっと変わるのかなという感覚は持っています。確かに多いので、子どもの安全のために気を付け

なければいけないブロック塀がたくさんあるんだなっていうのが、最初に報告を受けた時の感覚ですね。

(質) 各県立学校っていうと、先生とかが確認していると、まあ素人というか。

(答) 先生であつたりとか、事務職員とか、俗に言う有資格者でない教職員が測っているということです。幅とか高さについては測るということだけなら、有資格者でなくても測れますので、そういう意味合いで今回の調査はしたということです。

(質) ここで、有資格者っていうのと専門家っていうのが出てくるんですが、これ一緒ですか、1級建築士とか2級建築士とか。

(答) そうですね。有資格者というのは、一級建築士、二級建築士とか、建築物調査員ということだと思います。それから、専門家というのは、例えばどこかの業者でそういった資格を持った人が、いろいろあると思うんですよ、なんとか判定士とか、そういう方たちが専門家というふうに自分たちの中では理解しています。

(質) 法定点検が平成27年からということなんですが、これも先ほど職員にお聞きした時はもう少し前からやっていたみたいことを説明されたんですが、27年ということではなかったですか。

(答 学校経理・施設課) 3年ごとに施設の点検をしなければならないということで、3年を1つのグループというかパターンとしてまして、その1つの始まりが27、28、29というので、その前も法定点検につきましてはやっております。

(質) 今の体制になったのが27年から。

(答 学校経理・施設課) 27から27、28、29の3年で1つのグループにしているという意味合いです。

(質) じゃあ、その前からやり方は違えど、点検はやっていた。

(答 学校経理・施設課) やっています。

(質) その際もずっと異常とか報告は見つからないままだった。

(答 学校経理・施設課) その過去については、ちょっと調べておりません。この3年間の1つのかたまりで、直近の部分で調べたところ、出ておりません。

(質) 今後どういう思いをもって、どういうふうにこの対策を進めていくのか、一言いただいていいですか。

(答 学校経理・施設課) すみません。先ほどの特別支援学校の数ですが、14校。県立高等学校が56校。合わせて70校です。

(質) 特別支援学校14校で、あと盲学校、聾学校は。

(答) それが特別支援学校です。14校と県立高校が56とたして70と。特別支援学校に盲学校とか、聾学校とか、全部入っています。

(答) これからの思いですけど、やっぱり子どもの安全が第一ですので、本当になるだけ早く、早く撤去しなければならないものは撤去して、またそれで例えば目隠し等が必要であればその代替措置も必要だろうと思うし、そういうこともしながら詳細調査もできるだけ早くして、その方向を早く決めて、とにかく子どもたちが安全にそこで学べるように、そして周りでも通学できるようになっていかなければならないなっていうふうに思っています。それが思いです。

(以上) 16時53分 終了